

日	曜	六曜	行事・主催	場所	時間
1	火	赤口	元日		
2	水	先勝			
3	木	友引			
4	金	先負			
5	土	仏滅	岩井海岸ビーチクリーン (雨天翌日順延) (☎ 080-8051-6039 i. PLANNER 渡辺)	岩井袋側駐車場	6:30~7:30
6	日	赤口			
7	月	先勝			
8	火	友引	園庭開放 (0~3歳児までの交流)	富山子ども園	10:00~11:00
9	水	先負	おはなしだいすき (あひるの会)	白鳩保育園	10:00~10:30
10	木	仏滅	岩井駅東側花壇清掃 (いわい案内人の会)	JR岩井駅	9:30~
11	金	大安	ふらっとフットパス58 (詳しくは中面をご覧ください) 人権相談・行政相談	富山ふれコミ	13:30~16:00
12	土	赤口	手作りソーセージ&燻製ワークショップ (要申込) (☎ 090-4667-1086 南房総リパブリック 馬場)	旧平群保育所	9:30~14:00
13	日	先勝	南房総市成人式	白浜フローラルホール	13:20~
14	月	友引	成人の日		
15	火	先負	岩井海岸清掃 (久枝1・2、3観光) 出張介護個別相談会 (要予約) (☎ 0470-20-4500 内房高齢者相談センター) 出張にここにご広場	岩井海岸 富山ふれコミ 富山こども園	8:00~ 13:30~15:00 10:00~12:00
16	水	仏滅	ふれあいランチサービス (社会福祉サポートセンター)		
17	木	大安			
18	金	赤口	おはなしだいすき (あひるの会)	富山学園	8:00~8:15
19	土	先勝	おはなしだいすき (あひるの会) モチつき大会&チェーンソーカービング披露	富山ふれコミ 白鳩保育園	10:30~11:30 10:00~12:00
20	日	友引	第51回新春富山ロードレース大会 (☎ 090-3313-9769 富山地区体育振興会 山野井)	富山学園	9:10~13:00 (受付 8:20~)
21	月	先負			
22	火	仏滅			
23	水	大安			
24	木	赤口			
25	金	先勝			
26	土	友引			
27	日	先負			
28	月	仏滅			
29	火	大安			
30	水	赤口			
31	木	先勝			

サロン開催予定	場 所	時 間	1月の開催日		問合せ・備考
お達者サロンいわい	富山ふれコミ	第1・3(月) 9:00~11:30	7日	21日	090-5505-7022(吉澤)
茶の間 (久枝3・4)	八幡神社	第1・3(火) 13:30~15:00	15日	-	
市部みんなのたまり場	市部青年館	第2・4(火) 10:00~14:00	8日	22日	090-5505-7022(吉澤)
みならず出口	高崎出口青年館	第2・4(木) 13:30~15:30	10日	24日	
お達者サロンへぐり	富山コミセン	第2・4(金) 9:00~11:45	11日	25日	
いのばた	井野集会所	毎月20日 13:30~15:30	20日	-	
だんらんカフェ (犬掛)	古民家カフェ「田舎の家」	第2・4(木) 13:30~15:00	10日	24日	090-8963-5674(前田)

※「富山ふれコミ」は富山ふれあいコミュニティセンター(久枝) 「富山コミセン」は富山コミュニティセンター(平久里中)
※ 上記は主催団体等からの情報提供時点の内容に基づいており、都合により変更される場合があります。ご了承ください。



ふらっと 通信



発行: 南房総市 富山地域づくり協議会「ふらっと」

〒299-2216 南房総市久枝 327 (富山地域センター内)

TEL: 0470-57-3000 / FAX: 0470-57-3002

メールアドレス: tomy_furatt@yahoo.co.jp

2018年12月

第101号

南房総みんなみんネット 検索

富山地域全域で「避難訓練」が実施されました

【11月11日：平群地区】

河川の氾濫と土砂災害が発生したという想定で、避難訓練が実施されました。朝8時に訓練避難勧告が発令され、地域の住民は地区毎の一時避難所に避難しました。避難所では、要支援者に配布されている「ポングダナ」の説明がありました。富山平群体育館では、市の建設課で、災害時の活用を視野に入れた「ドローン」の模擬飛行がありました。



ドローンで撮影した富山平群体育館周辺

海上自衛隊第21航空群館山に、航空基地隊員による講演の後、装備の説明と試着が行われました。



薪を割り、かまどで夕食のカレーづくりを行う生徒。煙が目には染みます。



【11月30日：富山学園】

市内一斉避難訓練(引き渡し訓練)に合わせ、今年は6・7年生を対象とした、避難所宿泊体験を実施しました。「地域と作る防災講座①」では小学部の防災教室や起震車体験があり、「地域で作る防災講座②」では、「災害派遣経験を持つ自衛隊員の話」が開催され、15時から「市内一斉避難訓練」が実施されました。津波警報解除後は、希望した生徒を対象に「地域と作る防災講座③」の避難所宿泊体験が実施されました。体験では、屋外炊飯や体育館での防災教室(防災備品について)の後、段ボールを使った寝床づくりを行い、宿泊となりました。翌朝は、非常食体験の後、片付けを行いました。

【12月2日：岩井地区】

朝8時30分房総沖に大地震が発生、沿岸部では大津波警報、山間部では大規模な地すべり・がけ崩れの土砂災害が発生したという想定で実施されました。

対象となった地区の住民は、指定された一時避難場所および広域避難場所に各自避難しました。各避難場所では、災害時要援護者登録名簿の活用や「ポングダナ」の活用、非常食の配布などが行われました。



訓練で避難してきた住民の様子

第5回「伏姫秋まつり」を楽しみました

11月23日(金)、第5回「伏姫秋まつり」を、平群体育館と旧平群小校庭で実施しました。当日は晴天に恵まれ、会場には多くの方が来場し、芋煮や焼き芋などの秋の味覚に加え、初登場の焼マシュマロに舌鼓を打ちました。縁日遊びでは自然の素材を使った「木の葉のビンゴやどんぐりアート」が、午後から「あわの実」の人形劇や平群ばやしと子ども御輿の共演などで楽しみました。また、校庭で同時開催された「南房総サイクルツーリズム協会」の安全教室(キッズウィーラースクール)では、元プロ選手の指導で、一本橋や遅乗り競争などにチャレンジしていました。



↑木の葉のビンゴに興味津々



↓人形劇に子どもたちは大喜び



↑大人も子どもも一緒にワッシュヨイ



↓安全な乗り方を教わりました

「シャボン玉ファンタジーショー」に大歓声

白鳩保育園主催の「夢いっぱい の すぎやまこうじ シャボン玉ファンタジーショー」が、11月17日(土)10時から、富山ふれあいコミュニティセンター多目的ホールで開催されました。シャボン玉ショーには、園児や小学生・保護者など多くの方が来場し、愉快的トークと珍しいシャボン玉テクニックに大喜びでした。実演の間で、子どもたちが大小様々なシャボン玉にチャレンジしました。プログラム終盤の挑戦コーナーでは、子どもはもちろん、大人まですっぽり入ってしまう「巨大シャボン玉」は迫力満点で、大歓声があがりました。

【すぎやまこうじプロフィール】

学生時代にシャボン玉に秘められた不思議な魅力に取りつかれて「杉山兄弟」に師事。付き人からオペレーター・ディレクターを経てプロのシャボン玉アーティストに成長し、テクニックは師以上といわれるほど長年にわたり腕に磨きをかけ、数々のTVCMポスター撮影、かくし芸などのタレント指導などの実績を持ち幅広く活動。

全国各地で「感動」を形にする夢いっぱいの「シャボン玉ファンタジーショー」を展開し「夢と感動」を与え続け、毎年5万km以上の移動距離で各地の子どもたちに親しまれています。



ふらっと フットパス58

内房の花嫁街道を歩き、画家「伊東深水(朝丘雪路の父)」のゆかりの地(上佐久間)を訪ねます。

期日 1月11日(金) 雨天の場合は12日(土)に延期
 集合 南房総市駐車場(富山学園入口前)に8時50分まで
 参加費 1,000円(昼食代、お土産代、保険代、資料代ほか)
 持ち物 飲み物、保険証、雨具
 コース 約13km
 集合場所出発(9時)～富山学園西側経由～下要路線入口～嶺岡林道～光明寺への降り口～旧佐久間小(昼食・休憩)～別子への往復～旧佐久間小～嶺岡林道・水仙遊歩道経由～下要路線出口～富山学園西側経由～集合場所(15時30分頃解散)
 申込み 富山地域づくり協議会「ふらっと」 ☎57-3000(土日祝日を除く)

12月17日(月)
から参加受付



1/20(日) 恒例「富山ロードレース」のお知らせ

健脚たちが競い合う新春の富山路

新年恒例の「新春富山ロードレース大会」が、1月20日(日)に行われます。今年で51回目という長い歴史を持つ本大会。今年も多くの健脚たちが新春の富山路を走ります。

◎第51回新春富山ロードレース大会

開催日 1月20日(日) 雨天決行
 時間 10時～13時(開会式は9時10分から)
 会場 富山学園校庭
 問合せ 富山地区体育振興会(担当:山野井)
 ☎090-3313-9769



「ふらっとフットパス56」を実施しました

伊予ヶ岳を中腹まで登り、周辺にある古代「川上の郡衙」の想定地を巡りました。(11月28日(水)実施)

古代の日本は、道・国・郡・里といった行政区に分けられ、安房地域も平群・安房・朝夷・長狭の4郡からなる「安房国」とされていました。

中央と地方の行政区を緊密に結びつけるため、都を中心に国中に道路が整備され、約16kmごとに駅(駅家)を設ける「駅制」が敷かれました。「延喜式(平安時代の法令集)」によれば、当時の「安房国」には、「白浜駅」と「川上駅」があり、「駅馬」が5頭常備されていたとされています。

「川上駅」は、研究者の多くから富山地区の川上にあったとされています。川上は、外房と内房をつなぐ東西の道と、安房と上総をつなぐ南北の道の交差点に位置し、交通の要衝となっていました。

「安房国」4郡のうち平群郡の「郡衙(郡の役所)」は、富山地区の吉沢字大折にあったと想定されています(※ただし発掘による確認はされていません)。郡の長である郡司には地方の豪族が任命されました。行政は郡司と下級役人により行われ、勤務は朝日とともに出勤し、正午には退庁しました。執務は木簡で処理されました。「郡衙」は掘っ立て小屋に草ぶき屋根でありながら、政務や儀式の場である「庁」や、税の一種である稲を収納する「正倉」、軍の武器や兵糧を保管する「兵庫」、宿舎の「館」、炊事をする「雑屋」などからなっていました。

(参照「安房の歴史、安房の人と歴史、その他」)

